

素敵な女性リーダーに聞きたい!

撮影/武蔵俊介 文/神山典子

J・Win 理事長 内永ゆか子さん

Yukako Uchinaga



99 ジャケットを着ると
背筋が伸びる。
私はプロなんだという
スイッチが入るんです

66

「法改正が進んで、企業も女性の活躍を本気で望むようになり、女性が働くうえで障壁は随分低くなりました。高い意識を持って仕事に取り組んでいる女性も増えてきています。それはとても嬉しいことです。また、職場のルールと女性の意識の間にはいくつかのズレがあります。その一つが服装です」

と語るのは、日本IBMで初の女性取締役となり、その後ペリリッツコーポレーションでCEOを務め、現在はNPO法人J・Winの理事長として、企業における女性リーダーの育成を行っている内永ゆか子さん。「女性管理職候補の人たちは服装で損をしている」と感じています。

「男性にはスーツという制服がありますが、女性には決まったドレスコードがありません。お洒落をしたい気持ちも分かりますが、プロのビジネスパーソンを目指すなら、職場というシーンに最適な装いをするべきです。ビジネスでは、特に第一印象が重要。『非常識』、『子供っぽい』とマイナスイメージから関係を始めてしまうと、プラスに持っていくための時間と手間が余分にかかるため効率も悪い。

『外見より中身が大事』という考えは、スピーディーに物事が進む今のビジネスの現場には適していないのです。ですから海外のエグゼクティブのようにスーツで、凛として自信に溢れている姿をアピールすることはとても有効です」

内永さんご自身も、仕事の時はもちろんスーツ。

「スーツは、鏡に映った時に、背筋が伸びてシャキッとしていると感じたものを選んでいきます。そういうスーツは仕事スイッチを入れてくれますし、周りにプロフェッショナルで信頼できる人というイメージを与えることができます。そして、ハイヒール、ネックレスとイヤリング、指輪、腕時計、ブローチも必要なアイテム。『そんなに着飾らなくてもいいのでは?』と感じるかもしれませんが、装いは相手へのリスペクト。敬意を示すために、正装するのは当然のことです。そしてハイヒールも履き

ましよう。ハイヒールはたまに履くから痛い。だったら常に履いて脚を鍛え、慣らしておけばいいのです。自分の足型に合うブランドを探しておくことも大切です。女性にはハイヒールを履き、姿勢を正して歩くだけでオーラが増します。これは女性だけが使えるドレスコード。利用しないもったいないですよ」

**ワークとライフを
マネジメントし、上を目指して**

女性が働きやすい環境を整えられていく中で、女性管理職を目指すアラウンド管理職たちには、どんなことが求められているのでしょうか?

「自分の人生の中で、仕事が多きな意味を持つものなのかをもう一度考えてほしいと思います。皆さんは今、社会の中の会社という仕組みを使い、自己実現できる機会をもらっているのですから。仕事

を通じて成長し、また同時に組織や社会に貢献していくという大きな視点で仕事をみていただきたい。『職位が上がったほうがやりたいことも実現できる』というキャリアアップの醍醐味を、自分の目標として感じてもらえませんか?」

でも、昇進のチャンスを提供されても、「大変そう」「育児や家事もあるし」と尻込みする女性も多いと聞きます。

「どんな仕事でも大変なことはたくさんあります。ただ、キャリアアップする苦労は、乗り越えた先にある果実が大きい。価値観はそれぞれですが、この先に大きな果実があると思えば、辛い仕事も大変じゃなくなりますよ。」

近年、ワーク・ライフ・バランス(仕事と私生活の調和)とよく言われます。でも、仕事はそんなに楽にできるものではありません。私はワークとライフのバランスは、常にとれるものではないと

考えています。ある時期は子育てが中心になるけれど、ある時期は仕事に集中してキャリアアップする——ということを自ら決めていく。そんな自分で人生をマネジメントする「ワーク・ライフ・マネジメント」こそが、これからのビジネス・ウーマンの大きなテーマになるのではないのでしょうか?」

では最後に、OWN読者へ、素敵に働くためのアドバイスをお願いします。

「女性活用が叫ばれ、女性管理職を増やそうという流れのある今は、男性より、女性にキャリアアップのチャンスがあります。それなのに尻込みしてはいけません。そのチャンスを巡ってきたら必ず受け取ってください。自信がなくても大丈夫。会社だって見込みのない人には声をかけたりしません。安心してトライし、今よりも、もっと上を目指してくださいね。応援しています!」

PROFILE

内永ゆか子

Yukako Uchinaga

1946年生まれ。71年に東京大学卒業後、日本IBM入社。取締役専務執行役員を経て、ベネッセホールディングス取締役副社長、ペリリッツコーポレーション会長兼社長兼CEOを歴任。2007年よりNPO法人J・Winの理事長に就任。『もっと上手に働きなさい。』(ダイヤモンド社)など著書多数。

【心に響く! 内永語録】

- 「外見より中身が大事」は、仕事の場には適さない。
- アクセサリーをつけることは相手へのリスペクト。
- ハイヒールを履けばオーラが増す、これは女性の特権。
- 大切なのは、自分で人生をマネジメントすること。
- 仕事で上に行くチャンスがきたら必ず受けること。

J-Winってどんな組織?

NPO法人J-Win(ジェイウィン)は、2007年に設立された、企業のダイバーシティ・マネジメントの推進をサポートする企業メンバー制の団体。今年で10年目を迎え、会員企業は132社。毎年女性活躍推進の先進企業を表彰する「J-Winダイバーシティ・アワード」を実施している。また女性リーダー育成を目標とし、企業の枠を超えた職位別の3層からなる女性ネットワーク活動には、累計で2130名の女性が参加。(2017年3月現在)。http://www.j-win0.jp



J-Winでは、月1回の定例会のほか、テーマ別に活動する分科会、合宿や海外研修も開催している。本年には関西支部も設立するそう。写真は、3月3日に行われた拡大会議での、第6期女性メンバーの卒業式の様子。